

# 議員活動通信

## 日田市議会議員



なかしま章二

### 【連絡先】

電話・fax 0973-22-7102

携帯 090-8412-9143

住所：日田市港町 8-64

メール：shodaykota@ab.auone-net.jp



### 【令和2年第2回(6月)定例会】

令和2年6月定例会においては、日田市議会としても、3月定例会に引き続き、いろいろな新型コロナウイルス感染症対策をしてきました。

感染症拡大防止対策をしている執行部の拘束時間縮減や、議場での濃厚接触リスクの軽減を目的に、執行部は関係部局のみの出席としました。令和2年第2回6月定例会は、条例の一部改正や5億7,922万2千円の追加補正予算や請願など20議案について審査を行い、請願1件が不採択となりましたが、それ以外は可決・承認・同意・採択されました。

### 【令和2年第3回(9月)定例会】

令和2年9月議会においては、新型コロナウイルス感染症対策として、医療機関や子育て世帯に対する支援、市内経済対策等と、7月豪雨による広範囲での災害に対して、復旧支援に係る費用の追加を行う補正予算、対応策等について審議を重ね、災害を乗り越えて、より良い日田市となるために必要な施策を議決してきました。市庁舎1階の階段撤去については「979万円という高額な予算を撤去工事に費やしても約17人分の待合スペースが増加するにとどまることから、別の経済対策、予防対策も講じられるのではないか。また、密集・密接を避けるために何らかの知恵や工夫があるのではないか等から、修正案に賛成する立場で討論に参加し、採決の結果、多数をもって委員会修正案(撤去工事費減額)が可決されました。

そのほか、条例の一部改正や令和2年度一般会計補正予算など、26件の議案について審査を行い、階段撤去工事以外の議案については可決・承認・採択されました。

**6月議会の報告を作成中に、7月豪雨災害が発生したため、災害復旧ボランティア活動を優先し活動してきたために、第3号と第4号の合併版としていますこと、ご了承くださいますようお願いいたします。**



## 【6月議会一般質問と答弁】



### 1. 自然災害と感染症の複合災害への備えについて

【質問】複合災害に対する避難所の開設方法と運営方法について

【答弁】1人当たりの避難スペースをこれまでの3.5㎡から4㎡に増やし、通路幅1m以上を確保したレイアウトを考えている。この見直しにより例として、光岡小学校の収容人数はこれまでの144人から78人となる。各指定避難所の収容人数が以前より減少したことから、新たに6施設を追加し、指定避難所は市内全体で49施設となっている。

【質問】複合災害時の避難方法とその周知方法について

【答弁】分散避難については、まずもって身の危険が迫っているときには指定避難所や自主避難所へ躊躇なく避難をお願いしたいが、自宅での垂直避難や安全な親戚や友人宅への避難を検討している方は、日頃より自治会長、防災士、近所の方などへお知らせをお願いするとともに、指定避難所以外に避難した方は可能な限り市役所へ連絡をお願いしたい。

### 2. 小中学校の再開における新型コロナウイルス感染症への対応について

【質問】学校運営における感染拡大防止対策

【答弁】保護者の協力のもと、登校前に家庭での検温を行い確認票に記載、それを教室に入る前に教職員が確認をしながら健康状態を把握し、発熱等風邪の症状がみられる場合には自宅で休養するように指導している。

【質問】教職員・学習指導員・スタッフ等の増員について

【答弁】国において令和2年度第2次補正予算において、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、学びの保障のための人的・物的体制を整備することとしている。教員の加配、学習指導員、スクール・サポート・スタッフなどの増員が盛り込まれており、いずれも児童生徒への個別の対応や授業をする教員の支援を図るうえで有効な措置であると考え早急に対応を図る。

【質問】不足する授業時間への対応について

【答弁】前年度分の未履修内容の学習は分散登校により終えている。今年度はおおむね168時間の不足となることから、運動会、文教祭などの学校行事と教員研修など市教委主催行事の短縮により90時間、夏季休業の短縮により98時間あわせて188時間の確保を図ることができ、2学期終了時点では不足する授業時数を取り戻せる。なお、運動会、体育祭、中体連行事、鼓笛パレードなど児童生徒の取組の成果や個々の特性を表現できる場であり貴重な機会でありますことから、感染防止対策を講じたうえで内容や時期を変えながら実施するよう検討している。

【質問】長期にわたる臨時休業での児童・生徒の心身への影響と対応について

【答弁】アンケート結果からコロナウイルス感染に不安を感じている小学生80%、中学生53%、臨時休業中に不安やストレスを感じた小学生52%・中学生34%と回答している。このため各学校において、アンケートにより一人ひとりの内面を把握し、必要に応じて学校・市教委とで支援していく。

**6月議会各委員会審査  
について（抜粋）**  
**〔令和2年度日田市一般会  
計補正予算（第4号）〕**

補正第4号は歳入歳出それぞれに2億7129万5千円を追加し、補正後の予算総額を452億1642万5千円とするものです。

**〔歳入補正の主なもの〕**

林業成長産業化地域創出モデル事業の県支出金の増額や介護保険料の軽減強化に伴う国庫支出金の増額のほか、不足する一般財源所要額を財政調整基金から繰り入れ措置するものです。

**〔歳出補正の主なもの〕**

**〔中小企業等感染症防止対策支援事業〕**

感染症収束後の経済回復に向けての準備として、感染症予防対策強化に対する経費について支援するもので、今後の状況を考慮し、事業が広く浸透し利用者増につながるよう周知徹底を要望しました。

**〔市民税関係の条例改正〕**

すべてのひとり親家庭に対して公平な税制を実現する観点から「婚姻届けの有無による不公平」と「男性ひとり親と女性ひとり親の間の不公平」を同時に解消する改正内容について市民に周知徹底を図るよう要望しました。

**〔飲食店応援クーポン発行事業〕**

感染症の影響により、売り上げが大きく減少している飲食店を支援するため、クーポン券のプレミアム分を補助するもので、効果が得られるよう広く周知する事を要望しました。

**〔ICT教育環境整備事業〕**

児童生徒に一人一台のタブレット端末を配備するもので、家庭環境での教育の継続を均等に行うことができる導入機器の活用方法及び指導にあたる教職員のスキルアップ研修やフォローアップ体制を含んだ「日田市版GIGAスクール構想」を十分に検討する事を要望しました。

**〔令和2年度日田市一般会計補正予算（第5号）〕**

歳入歳出それぞれ3億792万7千円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ455億2435万2千円とするものです。

**〔歳入補正の主なもの〕**

国の補正予算（第2号）によるひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に伴う国庫支出金や、学習指導員配置事業及びスクール・サポート・スタッフ配置事業に伴う県支出金の補正のほか、学校給食費保護者負担軽減（9月から年度末まで無償）に要する費用などを財政調整基金から繰り入れするものです。

**〔歳出補正の主なもの〕**

**〔学校給食費保護者負担軽減事業〕**

コロナ禍において、児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を目的に今年度に限り9月以降の給食費を無償化するものです。

**〔スクール・サポート・スタッフ配置事業〕**

新型コロナウイルス感染症対策に係る業務増大に対応するため、現在配置されている4名に新たに23名を加えて雇用するものです。学習指導員配置事業は、学校教育活動を支援するために、全小中学校に配置するものです。

**〔請願〕**

「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願」については、全会一致で採択されました。

**〔議員提出議案〕**

新型コロナウイルス感染症拡大による市内経済への影響の深刻化を鑑み、影響を受けている市民及び市内業者への一層の支援が必要なことから、市が行う新型コロナウイルス感染症対策に資するため、議員報酬の月額を5%減額するものです。



## 【9月議会一般質問と答弁】



### 1. 令和2年7月豪雨時における災害対応について

**【質問】** 対策本部から遠距離にあり、道路寸断や停電、通信機器の不通となった、中津江振興局管内での情報収集と対策本部との連絡体制について

**【答弁】** 衛星携帯電話を使って連絡を取り、管内の情報収集、災害対策本部との調整を図るとともに、必要に応じて本庁職員が中津江振興局へ出向き、情報収集も行っている。

**【質問】** 被害情報が地区内・対策本部にも入ってこない状況の時に、「現地災害対策本部」を設置するのではないかと

**【答弁】** 天瀬・上津江・中津江地区など広範囲での被害発生状況であったため、指揮命令系統を一本化した方が対応できる。

仮に現地対策本部を中津江につくったとしても自衛隊、警察、消防が入って被害状況が入ってきた。その情報については、直接振興局と対策本部へ自衛隊から入ってきた。

**【所感】** 旧郡部や振興センター管内での災害発生時には、現地の状況を的確に把握し、即座に判断し対応をすることのできるシステムがとても重要であることを、これまでの災害で感じてきました。特に、今回のように道路も通信手段も使えない状況になった時の対応についてはしっかりと調査研究し改善する必要性を強く感じました。「現地災害対策本部」は局地的な災害時に設置するだけでは、迅速に災害対応できないことが考えられます。今後も市の災害対策については、「災害に強い日田」となるよう皆様の意見を行政に届けていきます。

**【質問】** 中津江住民の方が困っている状況を対策本部が理解していたのか？

**【答弁】** 一時期、中津江地区全体が孤立という状態になっており、振興局にも住民からの情報が途絶えていたため、中津江地区全体の被害の状況等が把握できていなかった。

**【質問】** どのような状況になれば、現地災害対策本部を設置するのか？

**【答弁】** 本部と遠距離の場合で局地的な場合に現地対策本部を設置した方が早急な対応がとれるという判断になると考える。

**【質問】** 今回の災害において、中津江むらづくり役場が行った活動について

**【答弁】** 情報共有、伝達活動、避難先情報と安否確認、不足物資の確認、振興局への伝達、村内の災害情報をまとめた広報誌の発行、NPO法人等との連携や避難所運営、安否確認、薬の確認と薬の宅配、通院の輸送など困りごとに対応してきた。

**【質問】** 「警戒レベル4避難勧告発令時」の住民との中津江ホールでの意見交換会開催について

**【答弁】**  
部長：災害発生後、被災された皆様への情報提供や意見を伺うことが何よりも重要であり、早い時期に実施したい考えのもと開催した。

市長：たまたま、開催時に避難勧告のアラームが鳴った。

**【※避難勧告発令時は速やかに避難することが第1と考えるが、発令時に意見交換会を開催したことは、危険ではなかったのかという質問でしたが、時間切れとなりました。】**

**9月議会各委員会審査について（抜粋）**  
**【令和2年度補正予算（第6号及び第7号）】**

第6号補正では、令和2年7月豪雨による災害対応のため、被災者の支援、障害物の撤去、災害廃棄物の処理など応急復旧費用を専決処分したものであります。

第7号補正では、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金12億9721万円を含む国庫支出金や農業施設等復旧支援事業などに対する県支出金の増額のほか、市債を8750万円増額したもので、歳入歳出それぞれ16億1573万1千円を追加し、補正後の予算総額を490億5877万6千円とするものです。

**【市庁舎1階フロア階段撤去工事費減額】**

審査では、「階段撤去よりもサーモグラフィー、隔壁の設置や検温など現状での工夫ができるのではないか」「階段撤去について、市民や職員の見解を聞く考えはなかったの

1、一般会計補正予算(第7号)の規模

(単位:千円)

当初予算	現予算	今回補正	補正後予算
37,576,969	47,443,045	1,615,731	49,058,776

(参考:令和元年度9月補正後予算額 38,984,739千円)

【主な財源内訳】

(単位:千円)

国庫支出金	1,561,977	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	1,297,210
県支出金	287,094		
繰入金	△ 322,738	財政調整基金繰入金	△327,125
市債	87,500		

か」「費用対効果についても十分な検討を加えたのか」などの意見が総務環境委員会や本会議での討論で出され、種々論議された結果、**階段撤去工事費979万円を減額する修正案が可決されました。**

**【福祉バスの運行】**

市民生活の利便性の向上のため、福祉バスの月出山線において、一部ルート変更を見直すに当たり条例の一部改正を行いました。今回のルート見直し（月出山線求来里ルート）について、地域住民に対し周知徹底を図るとともに、今後も地元の要望に柔軟に対応し、利便性の向上を図るよう要望しました。

**【津江老人福祉センター、中津江高齢者生活福祉センター廃止】**

令和2年7月豪雨により被災した両施設を廃止するもので、審査では、今後移転して新たに整備を行う際には、移転先や整備方法について、利用者や地元住民と協議を行い、十分な理解の上、決定することを要望しました。



**【アウトドア観光情報発信事業】1千250万円**

日田を拠点としたアウトドア観光の魅力を発信し、誘客を図るものです。実施においては日田市全体をPRし、入込客の増加等の効果が得られるように、工夫することを要望しました。

**【修学旅行保護者負担支援事業】101万4千円**

実施予定であった小中学校の修学旅行が、新型コロナウイルス感染症拡大への対応のため、中止になり、必要となったキャンセル料について公費で負担するものです。

**【コロナに負けるな！商品券発行事業】1億7千85万9千円**

市内の消費喚起・下支えを促すため、プレミアム付き商品券（紙媒体は、プレミアム率+20%（5000円で6000円分）を8万冊、電子商品券は、プレミアム率+30%（5000円で6500円分）を4万口発行するものです。

# 令和2年7月豪雨で被災された 皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

災害復旧ボランティアとして、中津江地区・上津江地区を中心に活動してきましたので、災害状況とボランティアの様子をご紹介します。今後も復旧復興に向けてお手伝いをさせていただきます。

